

子ども・若者分野に関する意見対応表

【子ども・若者】			
No.	委員	意見	対応
1	吉岡委員	切れ目のない支援のイメージ図に「妊娠葛藤等への対応」が入っているが、ドイツなどでも妊娠葛藤相談にすごく力を入れていて、一定程度効果が出ている。 <u>札幌でもぜひ力を入れていただきたい。</u>	「思春期・若年期から子育て期までの切れ目のない支援のイメージ図」の記載内容は、基本目標1の目指す姿1の施策だけでなく、他の基本目標・目指す姿にも跨ったものとなっております。「妊娠葛藤等への対応」については、 基本目標2の目指す姿3の施策「○若者の成長と自立に向けて、学習支援や各種相談などを行い、若者を支援します。」 の中で取り組んでまいります。
2	定池委員	切れ目のない支援のイメージ図について、そもそも、何でも相談できる場所というか、葛藤してから相談するのではなく、例えば、子どもを望んでいるけれども、札幌市にはどんな支援があるのかという問合せをできる場所はあると思うが、そういうことすら知らない場合もあるかと思う。だから、ちゃんと相談できる場所があり、それを広報していくみたいなことも書いていただきたいというか、特出ししていることだけではなく、 <u>悩んだときにどこかにアクセスできるというようなことも書き込んでいただくと、より切れ目のないということが分かると思う。</u>	「思春期・若年期から子育て期までの切れ目のない支援のイメージ図」の各支援については、 保健センターなどの各行政機関が民間の関係団体と連携しながら、実施します。切れ目のない支援を効果的に実施していくために、どのような相談窓口体制がよいかについては、引き続き検討してまいります。
3	梶井部会長	ひょっとしたら、妊娠や性病、あるいは、若い人たちの性交渉の悩みなども含め、 <u>ワンストップの相談窓口があればいいのかもしれないが、そうするとまた広がり過ぎて、相談されるほうが対応できないということもあり、悩ましいところ。</u>	
4	大西委員	イメージ図では子どもが生まれてから「子育て支援策の実施」となっており、「子育て支援」が妊娠前の人の支援なのか、それとも、子どもが実際に生まれた後の支援なのか、ずれる可能性があるのかなと思う。 <u>全体をさして「子育て支援」と言っているなら、子育て期のところだけに「子育て支援」と書かない方がよい。</u>	（「思春期・若年期から子育て期までの切れ目のない支援のイメージ図」の記載内容は、基本目標1の目指す姿1の施策だけでなく、他の基本目標・目指す姿にも跨ったものとなっております。） ご意見を踏まえ、「思春期・若年期から子育て期までの切れ目のない支援のイメージ図」の「子育て支援策の実施」を「 子どもの年齢や家庭の状況等に応じた支援 」に修正します。

No.	委員	意見	対応
5	佐藤（理）委員	<p>保育人材の確保についてです。</p> <p>「保育人材の就業継続や離職防止等の支援を行うとともに、将来保育士を目指す次世代の育成」となっているのですが、これから少子化になっていく中で、新しい人を幾ら育てていこうと思っても、人材が全然いない、どこの業界においても人材がいないということが大きな課題になっている。ただ、潜在保育士の方たちはすごく多いと思うので、資格は持っているが、仕事をしていない方たちに視点を当てていただきたいと思う。また、その次の介護人材の確保のところではここまで細かく触れておらず、潜在や育成とはなっていない。そうであればそこまで細かく書く必要はないと思うのだが、幾つか書いているのであれば、<u>潜在保育士という言葉も拾っていただきたい。</u></p>	<p>基本目標1の目指す姿2の施策に、「潜在保育士の復職に向けた支援」を追記します。</p> <p>（当初）</p> <p>○保育人材の確保に向けて、保育人材の就業継続や離職防止等の支援を行うとともに、将来保育士を目指す次世代の育成を進めます。</p> <p>（修正案）</p> <p>○保育人材の確保に向けて、保育人材の就業継続・離職防止や<u>潜在保育士の復職に向けた</u>支援を行うとともに、将来保育士を目指す次世代の育成を進めます。</p>
6	尚和委員	<p>基本目標2の目指す姿3の若者の第三の居場所づくりの推進と書かれていることについて。今、私たちは大学生の人たちと一緒に活動しているが、非常にたくさんのアイデアを持っていたり、社会貢献活動もされたりするので、そういった社会活動を応援、支援するような文言も入れていただくといいと思う。つまり、単に安心して過ごせる居場所だけではなく、積極的に社会の中で自分たちが役立っている、役割を感じられるというところまで支援できるような文言を入れていただくとおよろしいのかなということ。基本目標3の目指す姿3では、子どもの多様な学びの機会の提供ということで、地域社会での体験活動などと書かれているが、<u>若者についても自主的にそういった地域活動や貢献活動などをやっている団体や学生もたくさんいるので、そういった社会活動を支援する、とすると将来への希望を持ちやすい方向性につながるのではないかなと思う。</u></p>	<p>若者のまちづくり活動への支援については、基本目標7の目指す姿1に向けた施策に、「まちづくり活動への参加促進や担い手育成・確保に向けて、未来を担う若者へのまちづくり活動の大切さや必要性についての意識向上を図るとともに、若者と地域を繋げ、若者のまちづくり活動への参加を促進します。また、誰もがまちづくり活動を体験できる機会や情報を提供します。」を掲げ、取り組んでいく考えです。</p>

No.	委員	意見	対応
7	浅香委員	<p>基本目標3に「不登校の子どもへの多様な学びの機会の確保」と書いてあるが、不登校になってから対応するのではなく、<u>不登校になるのを防ぐ</u>というようなことも盛り込んでいいのではないかと。</p> <p>私の時代は、マンモス中学校・小学校だったが、不登校だったという記憶がない。一種の現代病に近いのかなと思う。なってからいろいろな選択肢を与えるというのは現代社会の在り方なのかもしれないが、不登校になりそうな時に学校の先生や親が相談できる体制もあればいいかなと思った。</p>	<p>基本目標3の目指す姿1の施策に「○不登校の子どもへの多様な学びの機会の確保に向けて、小中学校への専門人材の配置やフリースクールなどを活用し、一人一人の状況に応じた支援を行います。」を掲げ、取り組んでまいります。</p> <p>なお、<u>不登校の一因となりうる「いじめへの未然防止」</u>については、<u>基本目標2の目指す姿1の施策</u>に「虐待やいじめ等の未然防止や早期把握、適切な対応に向けて、区の保健センターなど身近な地域における相談支援体制や専門性を強化するほか、社会福祉等の専門的な知識や経験をもつスクールソーシャルワーカーを配置するなど、児童生徒が置かれた様々な環境への働きかけを強化します。」を掲げ、取り組んでいく考えです。</p> <p>(原案からの修正は行っておりません。)</p>
8	梶井部会長	<p>不登校の原因は、学校以外に、家族や地域など、非常に多岐にわたるので、それを未然に防ぐということをごここで明記するのはなかなか難しいところもあると思う。また、必ずしも学校にどうしても行かなくてはいけないというわけではない。特に、今は学校になじまない子どもも増えてきていて、その場合は、既存の学校ではなく、フリースクール、あるいは、NPOのやっているところなどで慣らしていくという対応もされている。そうしたことから<u>学校に絶対に行くように</u>というか、<u>未然に防ぐ</u>ということは書きにくいのかなと思う。</p> <p>不登校を消すとぼけてしまう。ここには不登校という言葉が必要だと思う。この書きぶりだと、未然に防ぐことも含めて学びの機会の確保という記載になっているので、事業におとしていくときに、そういうことにもきめ細かく目配りしていただければと思う。</p>	
9	定池委員	<p>不登校だけを出しすることは気になっている。もちろん、不登校の子どもが必要なサポートを受けられることは大切だが、梶井部会長がおっしゃったように、いろいろな選択肢があるという考え方もあって、子どもたちの可能性を引き出す、機会をつくるということはその上の段のところたくさん書かれている。ですから、<u>網羅的にしつつ、不登校の子どもにも支援をする</u>みたいな、<u>特出しし過ぎないような表現がよい</u>と思う。</p> <p>(今の表現は) 様々な支援がある中で、さらに不登校の子どもにも目配りをしていると前段は読めるので、全体を読めば大丈夫かなと思う。</p>	
10	吉岡委員	<p>不登校を強調するのはどうなのかという意見はごもっともだと思うが、一方で、コロナ禍で不登校の子が全国的に大変増えている。そういう<u>現代的な課題として、不登校の子どもへの学びの場の確保は札幌の大きな課題でもある</u>ので、<u>不登校という言葉</u>をぜひ置いておいていただきたい。</p>	

生活・暮らし分野に関する意見対応表

【生活・暮らし】			
No.	委員	意見（要約）	対応
1	吉岡委員	○基本目標5の目指す姿1について、本当に幅広い内容なので、やむを得ないところもあるが、大きく言うと、住まいの確保、医療について、最後に女性の経済的な困難といったこともあると思うが、 <u>もう少し分かりやすい書き方のほうが望ましい</u> のではないかという印象を持った。	○ご意見を踏まえ、分野別の施策（答申案第2章）について、施策の方向性が端的にわかる <u>タイトルを設定し、関連する施策については、タイトル毎に纏める</u> など、市民に分かりやすく伝わるよう整理します。
2	梶井部会長	○基本目標5の目指す姿1について、盛り込めば盛り込むほどこぼれるものがあるということもある。困難な女性のこともここに入ってしまうと、確かに生活しやすく住みよいまちですけれども、吉岡委員のご指摘のように、もうちょっと <u>整理し、まとめたほうが良い</u> 。	
3	吉岡委員	○基本目標5の目指す姿1について、多死社会という言葉は一般的なのか。あまりこの言葉を使ったことがないので、馴染みがないのですけれども、市民の皆さんはよく使われるような用語なのでしょうか。 <u>もう少し柔らかい言葉のほうがいい</u> かしらという印象を持った。	○ご意見を踏まえ、基本目標5の目指す姿1について、「 <u>高齢者人口が増加し、死亡者の数が増える、いわゆる多死社会に対応するため、増加が見込まれる墓地などに関する行政需要に対応するとともに、民間事業者等とも連携し、終活の普及に向けた取組を推進します。</u> 」と修正します。 (当初：基本目標5 目指す姿1) ・多死社会においても市民が不安なく暮らしていけるよう、増加が見込まれる墓地などの行政需要に対応するとともに、民間事業者等とも連携し、終活の普及啓発に向けた取組を推進します。

【生活・暮らし】			
No.	委員	意見（要約）	対応
4	定池委員	<p>○前回は申し上げたが、基本目標5の目指す姿1について、多様なセーフティーネットがあって、その網の目からこぼれる人がいない状態が平時から構築されていることが災害時においてもということなのです。</p> <p>○特に、こちらの分野は様々な専門に及んでいる領域だと思っております。災害のとき、<u>土業の方にこういったところに介入していただき</u>、複合的な困り事を抱えている方に対し、こういう支援がありますよと伝えるなど、災害ケースマネジメントにほかの地域では既に取り組まれておりますので、そういった観点から目配りした書き方をいただけるとありがたい。</p>	<p>○ご意見を踏まえ、基本目標5の目指す姿1について、「医療や介護などの支援を要する方を適切に把握し、複雑化・多様化する高齢者の課題に対応するため、地域包括支援センターや区役所の相談・支援の拠点としての機能を充実<u>するとともに関係団体や専門機関との連携を強化します。</u>」と修正します。</p> <p>（当初：基本目標5 目指す姿1）</p> <p>・複雑化・多様化する高齢者の課題に対応し、医療や介護などの支援を要する方の適切な把握に向けて、相談・支援の拠点として、地域包括支援センターや区役所の機能を強化します。</p>
5	佐藤（理）委員	<p>○基本目標5の目指す姿1について、住まいと医療、介護、福祉の連携とありますが、大きく分けるとそういう四つぐらいのカテゴリーになるのかなと思うが、住まいと福祉と医療は書いてあるのですけれども、<u>介護の文言も入れていただきたい</u>と思う。</p> <p>○<u>介護の人材不足については</u>、施設系でも在宅系でも大きな課題となっていて、保育士、看護師と同様に大変な状況ですので、<u>保育士のところと同じレベルで書いていただければ</u>と思う。</p>	<p>○ご意見を踏まえ、基本目標5の目指す姿1に、「<u>誰もが安心して介護保険などのサービスを受けられるよう、公平公正な要介護等認定や介護給付の適正化、保険料の適切な賦課・徴収等により持続可能な制度運営を行うほか、介護サービスなどの質を向上させる取組を推進します。</u>」と新たに記載します。</p> <p>○また、「<u>介護分野や障がい福祉サービス分野における人手不足の解消に向けて、仕事の魅力を発信するなど、人材確保への支援を行うほか、従業員の処遇改善やサービスの質の向上に向けた支援を行います。</u>」と修正します。</p> <p>（当初：基本目標5 目指す姿1）</p> <p>・介護や障がい福祉サービス分野の人手不足の解消に向けて、人材の確保、定着及びサービスの質向上に向けた支援を行います。</p>

【生活・暮らし】

No.	委員	意見（要約）	対応
6	浅香委員	<p>○基本目標5の目指す姿2について、冬期の乗継機能強化を検討しますと記載されているが、<u>今後10年間の計画期間中、検討を続けると見えるので、検討という言葉は取るべき。</u></p>	<p>○ご意見を踏まえ、基本目標5の目指す姿2について、「四季を通じて、誰もが円滑に移動することができる環境の整備に向けて、地下鉄駅などの旅客施設や道路、学校等の公共施設のバリアフリー化を進めるほか、タクシー・バス乗り場等における冬季の乗継機能を<u>強化します。</u>」と修正します。</p> <p>（当初：基本目標5 目指す姿2）</p> <p>・四季を通じて、誰もが円滑に移動することができる環境の整備に向けて、地下鉄駅などの旅客施設や道路、学校などの公共施設のバリアフリー化を進めるほか、タクシー・バス乗り場等の冬季の乗継機能強化を検討します。</p>

【生活・暮らし】			
No.	委員	意見（要約）	対応
7	大西委員	<p>○基本目標5の目指す姿1について、就労と療養の両立の観点を反映いただいたが、現在の記述では、がんだけのサポートに見えることから、例えば、疾病と就労の両立という言葉を含め、<u>がんだけに限らない記載にするべき。</u></p>	<p>○ご意見を踏まえ、基本目標4の目指す姿1について、「働く世代の健康増進に向けて、歩くことや食生活の改善、禁煙等の健康行動を日常の中で自然に行うことができる環境づくりを進めるなど、企業等と連携して健康に無関心な層へのアプローチを推進する <u>ほか、専門機関等と連携した治療と仕事の両立支援を行います。</u>」と修正します。</p> <p>○また、「がんになっても安心して暮らすことができるよう、がんの予防や早期発見・早期治療への支援を行うなど、がん患者及びその家族等への支援等を含めた総合的ながん対策を進めます。」と修正します。</p> <p>（当初：基本目標5 目指す姿1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誰もが住み慣れた地域で安心して療養できるよう、がんや脳卒中、心血管疾患などの主要な疾病ごとの医療連携体制を構築するほか、入院医療機関やかかりつけ医と在宅医療、介護・福祉など、様々な主体の連携により、患者を地域全体で支える体制を構築します。 ・がんになっても安心して暮らすことのできるまちづくりを進めるため、がんの予防、早期発見・早期治療や就労を希望する方への支援など、がん患者及びその家族等への支援などを含めた総合的ながん対策を進めます。

地域分野に関する意見対応表

【地域】			
No.	委員	意見（要約）	対応
1	吉岡委員	○基本目標6の目指す姿2について、多世代交流と国際交流について纏めている項目であると理解しているが、 <u>高齢者の交流の促進に向けて、という部分を持出ししていることに違和感を感じる</u>	○ご意見を踏まえ、基本目標6の目指す姿2について、「 <u>地域での多様な交流の促進に向けて、小学校区に相当するエリアを地域コミュニティエリアに設定し、小学校の改築等に合わせて地域交流施設を併設するほか、学校図書館の地域住民への開放等を行うなど、多世代交流を促進する取組を推進します。また、地域での親睦やレクリエーションなどの活動等への支援を行います。</u> 」と修正します。 (当初：基本目標6目指す姿2) ・多世代交流の促進に向けて、小学校区に相当するエリアを地域コミュニティエリアに設定し、小学校の改築等に合わせて地域交流施設を併設するなどの取組を進めるほか、学校図書館の地域住民への開放等を行います。 ・高齢者の交流の促進に向けて、地域の高齢者の親睦やレクリエーションなどの活動等への支援を行います。
2	松田委員	○中央区に子ども若者の居場所を設置したが、 <u>高齢者もシニアだけの閉じたコミュニティだけでなく、多世代交流を促進していくことが重要</u>	
3	尚和委員	○ <u>同じ世代だけで交流するというのも大事であるが、高齢者だけに限定するように記載しない方が良いと感じる</u>	

【地域】			
No.	委員	意見（要約）	対応
4	高橋委員	<p>○基本目標6の目指す姿1について、<u>市民全体に対する外国人への心のバリアフリーを進めるということについて表現されていないと感じるので、多様な学びの機会を提供するというような記載を入れてはいかがか</u></p>	<p>○ご意見を踏まえ、基本目標6の目指す姿1について、「外国人も日本人も誰もが安心して暮らすことができるよう、外国人向けの相談窓口の運営や生活・コミュニケーション支援など、暮らしの不便・不安を解消するための取組を行うほか、<u>外国人との交流などを通じた市民の多文化理解を促進するとともに、子どもたちの国際感覚や異文化への理解を促進する取組を推進します。</u>」と修正します。</p> <p>（当初：基本目標6目指す姿1）</p> <p>○外国人も日本人も誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて、外国人向け相談窓口の運営や生活・コミュニケーション支援など、暮らしの不便不安を解消するための取組を行うとともに、市民の多文化理解を促進します。</p>

【地域】			
No.	委員	意見（要約）	対応
5	福士委員	<p>○基本目標7について、地域でのまちづくり活動は、現実として、<u>まちづくりセンターが中心となってコーディネートしているが、自主運営は10か所程度であり、更に充実していく必要がある</u></p> <p>○町内会と商店街の連携ができていない所がまちまち、連携が進むような表現を入れていただけると良い</p>	<p>○ご意見を踏まえ、「まちづくりセンター」と「札幌市未来へつなぐ町内会ささえあい条例」についてのコラムを新たに記載いたします。</p>
6	吉岡委員	<p>○まちづくり活動に関して、市民に主体的に考えていただくことが重要であり、主体的、自主的にというニュアンスが醸し出されると良い</p>	
7	梶井部会長	<p>○まちづくりに参加するためには、まちづくりは何のために必要なのか、ということが市民に見えていないといけない</p> <p>○そもそも論になってしまうが意識啓発からやっていかなければいけない</p> <p>○施策の文言に書き込むことは難しいと思うので、絵や図で記載するなどの工夫があっても良いかなと感じる</p> <p>○<u>まちづくりセンターは、繋ぐという機能であると思うので、そのようなニュアンスも踏み込んで記載するのが良いと思う</u></p>	
8	尚和委員	<p>○高齢者からは、活動する場所に困っているという話を聞いている</p>	<p>○基本目標8の目指す姿3に、「町内会活動などの更なる活性化に向けて、町内会の意義や重要性を発信するとともに活動への支援や町内会への加入促進に向けた支援を行います。また、それぞれの町内会が抱える課題・特性に応じた効果的な支援や市民集会施設などの活動の場の維持・充実にに向けた支援を行います。」を掲げ、活動できる場の周知も含めて取り組んでまいります。</p>
9	吉岡委員	<p>○札幌は公民館が十分に整理されていない</p> <p>○エルプラザは全国一利用されているのではないかと、登録すれば無料で使える、<u>まちづくりセンターを無料で使えるということなどを発信していくことが重要であると感じる</u></p>	

安全・安心分野に関する意見対応表

【安全・安心】			
No.	委員	意見（要約）	対応
1	定池委員	<p>○基本目標 8 の目指す姿 2 について、市民 1 人 1 人に寄り添った支援を行いますという記載をいただいたが、災害ケースマネジメントについて以前から発言させていただいて、<u>土業との連携という言葉も入れていただけると有難い</u></p> <p>○基本目標 8 の目指す姿 2 の 3 つ目の丸について、言葉の順番であるが、<u>災害復旧と生活再建の順番を変えた方が良い</u></p> <p>○また、目指す姿 3 について、避難所への避難だけでなく、コロナ禍で多様な避難、<u>在宅避難などが推奨されており、今後 10 年は変わらないと思う</u></p> <p>○仙台市では東日本大震災の際に、避難所委員会を設けて、市民に在宅避難をしようという普及啓発をしていて、札幌市は HUG で普及啓発を行っているが、避難所に行かないというゲームも作っている</p> <p>○非難しなくても大丈夫な方は、在宅避難をする、本当に必要な方は避難所にとりあえず考えていると市民に分かっていただけだと思う</p>	<p>○ご意見を踏まえ、基本目標 8 の目指す姿 2 について、「災害から命を守り、いち早い<u>災害復旧</u>と<u>生活再建</u>を実現するため、先端技術の活用などにより、避難誘導支援や情報収集・発信などの仕組みづくりを推進するほか、<u>関係団体や専門機関と連携し、</u>市民一人一人に寄り添った支援を行います。」と修正します。</p> <p>○また、基本目標 8 の目指す姿 3 について、「日頃の災害への備えを促進するため、企業や学校などとも連携し、あらゆる世代に対して、<u>在宅避難も含めた、とるべき避難行動の知識</u>や土砂災害、厳冬期の災害も想定した防災知識の向上に向けた取組を行います。」と修正します。</p> <p>（当初：基本目標 8 目指す姿 2）</p> <p>・災害から命を守り、いち早い生活再建と災害復旧を実現するため、先端技術の活用などにより、避難誘導支援や情報収集・発信などの仕組みづくりを推進するほか、市民一人一人に寄り添った支援を行います。</p> <p>（当初：基本目標 8 目指す姿 3）</p> <p>・日頃の災害への備えを促進するため、企業や学校等とも連携し、あらゆる世代に対して、土砂災害や厳冬期の災害も想定した防災知識の普及啓発を行います。</p>

【安全・安心】

No.	委員	意見（要約）	対応
2	松田委員	<p>○子ども若者支援の分野でもそうであるが、行政の仕事として、国や道からの情報を持ってきていただけるということも非常に有難いことと感じている</p> <p>○災害時にも国や道ともしっかりと連携を取っているということも読み込めると、非常に良いと思う</p>	<p>○ご意見を踏まえ、基本目標8の目指す姿1について、「災害時に迅速かつ的確な応急対策を行うため、災害対策本部機能の強化や情報伝達手段の整備を行うほか、大規模災害を見据えた研修を行うなど消防団等を強化します。また、<u>国や北海道との連携を密にするとともに</u>企業等と災害時協力協定を締結するなど協力体制を強化します。」と修正します。</p> <p>○また、「防災に関する広域的な連携の推進に向けて、道内他市町村などとの消防活動や上下水道、廃棄物処理等の相互応援を行うほか、さっぽろ連携中枢都市圏域内の災害や防災に関する相互理解や情報共有等を推進します。<u>また、職員の派遣など、大規模災害時における自治体間の被災地支援に取り組みます。</u>」と修正します。</p>
3	定池委員	<p>○書くかどうかはご判断いただきたいが、<u>行政が困ることとして、災害の法制度の理解</u>ということがあり、国にお願いをするにも、基礎的な知識が必要で、災害救助法が鬼門と言われている</p> <p>○研鑽しようにもできないこともあるので、<u>被災地への支援に行く際に、現場で学んでくる</u>というような派遣や研修を受講できるというような表現もあると良い</p>	<p>（当初：基本目標8目指す姿1）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に迅速かつ的確な応急対策を行うため、災害対策本部機能の強化や情報伝達手段の整備を行うほか、大規模災害を見据えた研修を行うなど消防団を強化します。また、企業等との災害時協力協定を締結するなど協力体制を強化します。 ・防災に係る広域的な連携の推進に向けて、道内市町村等との消防活動や上下水道、廃棄物処理の相互応援等を行うほか、さっぽろ域内の災害や防災に関する相互理解や情報共有等を推進します。

【安全・安心】			
No.	委員	意見（要約）	対応
4	定池委員	<p>○予算化を確定するものではないということであるので、<u>事前復興計画を作るということを盛り込んで欲しい</u></p> <p>○基本方針だけ作っているところもあるが、東京都のように作りこんでいるところもある</p> <p>○東京都、徳島県の復興指針の委員もしているが、市民への対応だけでなく、観光地としてどう再建していくかというような都市の再建にも関わることであり、観光キャンペーンはこのタイミングで打つということも定めている</p> <p>○被災してから計画を作るのは大変であり、北海道として作っているところはないので、札幌市が先行していけると思っており、札幌市民だけでなく、北海道内の他の自治体にも良いことかと思う</p>	<p>○ご意見を踏まえ、基本目標8の目指す姿1について、「社会状況や最新の知見を反映させ、災害時に想定される被害を軽減するため、災害の発生前や発生後の応急・復旧・復興期の対策について、強靱化計画や地域防災計画の見直しを行うほか、<u>事前復興計画についての調査・研究を行います。</u>」と修正します。</p> <p>（当初：基本目標8目指す姿1）</p> <p>・社会状況や最新の知見を反映させ、災害時に想定される被害を軽減するため、発災前や応急・復旧・復興期の対策について、強靱化計画や地域防災計画の見直しを行います。</p>
5	梶井部会長	<p>○<u>事前復興計画の策定を視野にいれた取組を進めますという言葉を入れるか、入れないか、どこまで踏み込むかというのは調整が必要かと思う</u></p>	

経済分野に関する意見対応表

【経済】			
No.	委員	意見（要約）	対応
1	山本（一）委員	<p>11-3</p> <p>「充実強化すること」に「育成」を加えて、「人材の育成および集積」としてほしい。</p> <p>札幌に愛着を持った人を育ててほしい。</p> <p>実業家の久能祐子氏は、ベンチャーに必要なものとして「自己肯定能力」を挙げている。</p> <p>「自己肯定能力」を育て、札幌で育ててよかった、このまちをよくしたいと思える人材育成が大切。</p>	<p>ご意見を踏まえ、基本目標11の目指す姿3の充実強化すること、施策を修正します。</p> <p>■充実強化すること （修正案）<u>スタートアップの創出、成長支援、人材の育成</u>。スタートアップの集積による新しい産業の創出。 （当初案）スタートアップの創出。スタートアップの成長支援。企業、人材の集積。スタートアップの集積による新しい産業の創出。</p> <p>■施策 （修正案） スタートアップ・エコシステムの成熟に向けて、企業、大学等と連携し、<u>人材の育成</u>、スタートアップの創出・集積を促進するとともに、支援する企業や人材を呼び込み、スタートアップの成長フェーズに適した支援を行います。</p> <p>（当初案） スタートアップ・エコシステムの成熟に向けて、企業、大学等と連携し、スタートアップの創出、集積を促進するとともに、支援する企業や人材を呼び込み、スタートアップの成長フェーズに適した支援を行います。</p>
2	中田委員	<p>12-2</p> <p>女性、高齢者、外国籍の方、障がいのある方等の就業を支援するという記述があるが、<u>企業側の目線として、出産や子育てを終えた方を積極的に採用できるような支援がほしい。</u></p>	<p>企業への支援については、<u>基本目標12の目指す姿3の施策に「企業における働きやすい就業環境の整備に向けて、時間や場所を選択できる柔軟な働き方の導入や働き方改革に関する支援をします。」</u>を掲げ、取り組んでいく考えです。</p>

スポーツ・文化分野に関する意見対応表

【スポーツ・文化】			
No.	委員	意見（要約）	対応
1	山本（一）委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ これまでも札幌市は文化芸術に力を入れてきたと思うが、子どもへの文化芸術へのふれあいに関する特徴的な教育活動はどんなことをしているか ・ <u>子どもが育っていく中で経験したことは心に残るので、文化芸術に触れていくことが実現できる記載があれば</u> ・ <u>ボリューム（回数、機会）を増やすべき、という趣旨</u> 	<p>ご意見を踏まえ、基本目標15目指す姿1の施策1つ目について、文化芸術の体験機会を充実させる表現に修正します。</p> <p>（修正案） ○～、子どもや障がいのある方などに、<u>文化芸術の鑑賞や体験の機会を充実させます。</u></p> <p>（当初案）</p>
2	平本部長	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>趣旨は施策に包含されていると思うが、具体的な記載できるか検討してほしい</u> 	<p>○～、子どもや障がいのある方などにも文化芸術の鑑賞や体験の機会を提供します。</p>
3	原田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 観光庁のスキーリゾート形成でカギになるのがベースタウン。200万人都市の札幌市全体がベースタウンになると思っており、そういった都市は他にない。ベースタウンの概念を取り入れるとよい。 ・ スキーリゾートはグリーンシーズンも大事。四季を通じて観光産業を発展させ、観光業に従事できる人を確保する必要。加筆するということではないが、四季を通じたスポーツ、文化、観光都市という発想を今後の検討に加えてほしい。 	<p>ご意見を踏まえ、基本目標14目指す姿2の施策3つ目について、ベースタウンの考え方を明示する表現に修正します。</p> <p>（修正案） ○<u>スキーリゾートとしてのブランド化に向けて、札幌市内及び北海道内のスキー場や宿泊・観光施設などの関連事業者の連携を支援するとともに～</u></p> <p>（当初案） ○スキーリゾートとしてのブランド化に向けて、札幌市内及び北海道内のスキー場を始めとした関連事業者の連携を支援するとともに～</p>
4	川島委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本目標13の目指す姿2「充実強化すること」に「ウインタースポーツの観戦文化の醸成」はあるが、<u>「大会の円滑な運営」という文言も入れるべき</u> 	<p>ご意見を踏まえ、「充実強化すること」に<u>「大会運営を支えるボランティアの育成や参加機会の拡充」</u>を追記します</p>

No.	委員	意見（要約）	対応
5	川島委員	・観戦するだけでなく、大会を誘致、運営する際に市民の積極的な関わりが必要	
6	山本（一）委員	・基本目標14の目指す姿2に記載している、札幌ドーム周辺の具体的なイメージはどうか ・札幌ドーム周辺は地下鉄からも近く、その辺の充実があると、子どもと遊ぶ場所、体、心を鍛え、思い出を作れ場所になると思うので充実をより詳しくお願いしたい	ご意見を踏まえ、都市空間分野の基本目標19高次機能交流拠点における札幌ドーム周辺の記載に「文化芸術」を追記します。 (修正案) スポーツ・文化芸術や集客交流産業の振興などに関わる拠点性を高めるため、多様なイベントの開催～
7	柴田委員	・札幌ドーム周辺にはアートグローブが26個あり、私も2つに関わっている。札幌ドームはスポーツだけの施設ではなく、アーティストや文化芸術の商業的なイベントでも使うので、スポーツだけでなく、文化、産業に関する記述をしてほしい	(当初案) スポーツや集客交流産業の振興などに関わる拠点性を高めるため、多様なイベントの開催～
8	平本部会長	・ドームがスポーツだけでなく、文化芸術、商業も含めた拠点として活用するということを明確にすべきと思う	
9	中田委員	・基本目標14の目指す姿2、プロスポーツチームと連携したまちづくり、とは具体的にどういったことか	スポーツチームによる社会貢献活動や選手と子どもの交流などの取組を行っています
10	木村委員	・基本目標13の目指す姿2の施策3つ目について、ボランティアは労働力で質と量を高めたい、というように見える。ボランティアが市民参加につながる、という表現にすべき。「能力向上」ではなく、「参加の機会の拡充」という表現でどうか	ご意見を踏まえ、参加機会の拡充に関する記載を追記します (修正案) ～大会運営を支えるボランティアの育成や参加機会の拡充を支援します。 (当初案) ～大会運営を支えるボランティアの能力向上を支援します。
11	山本（一）委員	・基本目標14の目指す姿1、施策の一番下はどのようなイメージか ・北見工大がカーリングの知見を有している。経済効果をもたらす可能性があるので大学連携も活用し、札幌市の強みにつなげてもらいたい。	具体化はこれからですが、オリンピックパラリンピックなどを契機にプロスポーツ選手の知見を市民の健康に取り入れられればと考えており、ご意見を踏まえ進めていきます。

環境分野に関する意見対応表

参考資料 2-2-7

【環境】			
No.	委員	意見	対応
1	岡本委員	札幌市内に水を供給しているエリアの環境の保全というところも必要なか と 思っている。都市の外側になってしまうが、 <u>都市で使う水源として西側の 山々があるが、安全な水の確保のためには、その環境保全を行う必要があ ると思うので、そういった観点の記載はあった方が良いのではないか。</u>	水環境の保全については、 環境分野の基本目標 1 7 の目指す姿 1 の施策に、 「みどりの創出・保全」及び「市街地を取り巻く森林の整備」を位置づけて おり、みどりの保全、ひいては、水環境の保全について、取り組んでいく考 えです。 また、札幌市の主要な水源は、みどり豊かな支笏洞爺国立公園や国有林野内 にあるため、開発等が規制されており、水環境の保全がなされている状況に あります。一方で、安全な水を確保するために、水源パトロールや各浄水場 での水質検査を日常的に行っており、安全な水の提供に取り組んでおりま す。 なお、安全・安心分野の基本目標 8 の目指す姿 1 の施策に、「災害時におけ る良質な浄水場原水の確保に向けた取組」を位置づけており、災害時にも安 全で良質な水を供給できるよう、取り組んでいく考えです。
2	椎野委員	先ほどの岡本委員の発言に関連して、森林の保全にも紐づいている面もある ので、 <u>普段から森林の保全を行うことによって、水質を一定に保つことがで きる。</u>	加えて、水質汚染などの都市・生活型公害への対策については、 環境分野基 本目標 1 6 目指す姿 4 の施策として、新たに「都市・生活型公害の防止に向 けて、大気・水質・騒音などの現況を適切に把握するほか、都市・生活型公 害に関する情報発信や事業者への監視指導などを行います。」 を追加しま す。
3	椎野委員	環境分野基本目標 1 7 の目指す姿 2 に「防災」と記載しているところである が、2018年の胆振東部地震の際には、公園の水を生活用水等として活用して いた実績もあるので、 <u>より具体的な事例として、災害に関する市民への情報 共有に関し、公園・緑地も活用できるという周知も行う必要があると思う。</u>	環境分野の 基本目標 1 7 の目指す姿 2 の施策に、防災機能などみどりが有す る多様な機能の活用を位置づけているほか、安全・安心分野の基本目標 8 の 目指す姿 3 の施策に、「あらゆる世代に対する防災知識の普及啓発」 を掲 げ、取り組んでいく考えです。

No.	委員	意見	対応
4	椎野委員	<p>環境分野基本目標17の目指す姿3に「野生生物（ヒグマ等）」という表記にいただいています。 <u>「ヒグマ」という文言を入れたほうが良いということ</u>でいいのでしょうか。やはり、皆さんのご関心があるところだからという理解でよいか。</p> <p>ヒグマに関して言うと、割と市街地に近いところの空間の管理というか、人手が足りず、草がぼうぼうとなっているところが増えていきますので、そうした空間の管理は非常に大事なと思います。そこで、共生の中に自然と都市の境界領域の空間の管理、具体的に言うと、草刈りをして見通しをよくするなど、それだけでもかなり共生できる可能性は高まるかなと思う。</p>	<p>一昨年、市街地にヒグマが出没し、市民の方がけがをされるという大きな事故もあり、市民の方の関心を踏まえるとともに、市としてもしっかり対策をしていかなければならないと考えたことから、このような表現としたところです。</p> <p>また、ヒグマに特化した行政計画を策定する予定もあるため、そういう意味合いも込めて表現をさせていただいたところです。</p>
5	岡本委員	<p>(基本目標16目指す姿2の施策に関して、) 今、エネルギーネットワークをつくろうとしてする動きについて、幾つか聞こえてきていますが、スペックを十分に活用していただけているのでしょうか。新しめのところではスペックがあっても生かし切れていないという話も聞こえています。あるいは、整備してスペックはあるけれども、使わない、契約してくれないという話になってしまうと宝の持ち腐れになってしまいますので、マネジメントといますか、<u>上手に使っていただくような工夫も必要なのではないかな</u>と思っています。</p>	<p>エネルギーネットワークの整備にあたっては、都心の開発動向などを捉えたうえ、将来的な需要への柔軟な対応が可能となるよう、エネルギー事業者との協議等踏まえ調整を進めています。今後もネットワークの有効活用が図られるよう、令和4年5月から運用している開発計画の事前協議制度の活用や、関係主体との意見交換により取組展開を進めます。</p>

都市空間分野に関する意見対応表

参考資料 2-2-8

【都市空間】			
No.	委員	意見	対応
1	牧野委員	<p>札幌の夜景は、札幌市の大きな魅力の一つであると思うので、<u>夜景をもっと強く打ち出して良いのではないか。</u></p> <p>札幌には、夜景ナビゲーターもいたり、そういった方々がその魅力を発信したりしているほか、この冬の時期にはイルミネーションも行っている。</p>	<p>経済分野の基本目標 10 の目指す姿 1 の施策を、「観光の高付加価値化に向けて、札幌市・北海道<u>ならではの観光資源（食、自然、文化、夜間観光など）を活用した</u>コンテンツの充実等に取り組みます」に修正（下線部追記）しました。</p> <p>また、高次機能交流拠点「藻岩山麓周辺」の位置づけについて、「藻岩山からの夜景等の景色」を追記しました。</p>
2	岡本委員	<p>高次機能交流拠点の一覧表に関して、【参考】として、その他の高次機能交流拠点の位置づけも記載しているが、その中には、前期の戦略ビジョンで位置づけ、継承しているものもある。それらの拠点について、<u>いつまでに変化がみられるのか、又は、前期の戦略ビジョンから今回の戦略ビジョンにかけての変化等についても、分かるように示した方が良いのではないか。</u></p>	<p>各拠点の位置づけについて<u>修正を行います。</u>（詳細は参考資料をご参照願います。）</p>

No.	委員	意見	対応
3	岡本委員	<p>今、まちの姿が大きく変わっているのは、新幹線の写真があるとおり、<u>2030年度の新幹線札幌延伸などを見据え、活発化しているところであるが、それを活かすということや、それを起爆剤として推進していくという点について、もう少し強めに打ち出していくのが良いのではないか。</u></p>	<p>北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業については、ビジョン編の第2章「4 昨今の社会経済情勢」(5)都市のリニューアルにおいて、トピックとして掲載するとともに、これら札幌市の現在と将来に関する考察を踏まえ、各まちづくりの分野の基本目標・目指す姿等を導き出したところであります。また、都市空間分野の基本目標19の目指す姿1の施策を「北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業による交流人口の拡大などを見据え」に修正（下線部追記）します。</p> <p>あわせて、経済分野の基本目標10の目指す姿1の施策を「道内観光の拠点都市として国内外からの多くの観光客を呼び込むため、北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業や都心部の再開発などの機会を生かしながら、誘致プロモーションなどの誘客促進と受入環境の整備に取り組みます。」に修正（下線部追記）するとともに、</p> <p>基本目標11の目指す姿4の施策を「北海道新幹線の札幌駅までの延伸・開業や都心部の再開発を経済圏域拡大の契機と捉え、魅力ある雇用の場を創出するため、札幌の強みや優位性を生かした企業誘致を促進するとともに、創業に関する支援を充実します。」に修正（下線部追記）します。</p>
4	岡本委員	<p>計画のビジョンの在り方として、ある程度長いスパンで見えていくことが前提になっている中、そう考えると、前にもお伝えしたと思うのですが、エネルギーが水素となったり、再生可能エネルギーの力で車が走ったりすればいいよねという話だけではなく、<u>車で来なくても十分快適に楽しめるということが必要だと思う</u>。例えば、基本目標18の目指す姿4のところを持続可能な公共交通ネットワークと書かれており、ここを深読みすれば車で来なくても大丈夫なまちと読み取れなくもないと思うのだが、どう受け止めたらいいか、教えてもらいたい。</p>	<p>ご指摘の点について、目指す方向性としてはそういう意味合いも含んでいるところであり、都市空間分野の基本目標19の目指す姿1等の施策や充実強化することに、ウォーカブルシティ、いわゆる、歩きやすく楽しい、多様な活動ができる、滞留したくなる空間形成を位置づけているところ。</p> <p>また、第1章の分野横断的に取り組む施策の「ウェルネス」においても、主な施策にウォーカブルシティを掲げているところ。</p>
5	高野部会長	<p><u>市民の関心が高い冬について、どのような表現になっているのか確認したい。</u></p>	<p>冬・雪に関する施策については、分野横断的に取り組む施策「スマート」において、雪との共生、雪の利活用を掲げているほか、例えば、生活・暮らし分野で除排雪の施策を位置づけるなど、各まちづくりの分野においても、施策を掲げており、取り組んでいく考えです。</p>

拠点名	第1次戦略ビジョンでの位置づけ	これまでの主な取組	第2次戦略ビジョンでの位置づけ
丘珠空港周辺			北海道各地のビジネス・防災・医療を支える道内空港ネットワークの拠点として、運航機会の拡大や空港へのアクセス性の強化、メディカルウイングの通年利用、便利施設の誘致など、丘珠空港及び空港周辺エリアの更なる活用を図ります。
スノーリゾートエリア			「雪の街の魅力」と「国際観光都市の魅力」とが融合した『都市型スノーリゾートシティ』の拠点として、市民・観光客の多様なニーズに対応できるよう、スキー場利用客の満足度を高める施設の整備やサービスの提供などにより、スキー場とその周辺エリアのレベルアップを図ります。
円山動物園・大倉山周辺	観光・環境学習・生物多様性の保全・市民の癒し空間などの拠点として、さらに、産学官の連携による環境負荷の低減など多様なメッセージの発信拠点としての役割を果たすための機能強化を図ります	<ul style="list-style-type: none"> ・アフリカゾーンオープン (H28) ・ホッキョクグマ館オープン (H29) ・ゾウ舎オープン (H30) ・札幌オリピックミュージアムリニューアル・名称変更 (H29.2) 	環境教育や生物多様性の保全、スポーツ、観光などの拠点として、多様なメッセージの発信の役割を果たすための機能強化を図ります。
札幌ドーム周辺	スポーツや集客交流産業の振興に関わる拠点性を高めるため、多様なイベントの開催や周辺の施設や空間とも連携するなど、更なる活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・2017冬季アジア札幌大会開催 ・2019ラグビーワールドカップ 試合開催 ・札幌ドーム活用促進 	スポーツ・文化芸術や集客交流産業を振興する拠点として、多様なイベントが開催されることはもとより、拠点の機能を高める施設の立地を進めるとともに、これらの施設と札幌ドームとの相乗効果が期待できる機能誘導を図ります。
中島公園周辺			市民の憩いの場や国内外からの来訪者を含めた交流の拠点として、都心部の貴重なみどりの魅力を向上させるとともに、集客・交流機能や芸術・文化機能の強化を図ります。
北海道大学周辺	次世代型のエネルギー利活用や、新しい産業振興の源泉となる技術の研究開発、さらには活力ある企業や人材の育成などに向けて、産学官が協働して取り組むための中心的拠点として位置づけ、連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・研究施設などの企業集積の促進 ・北大キャンパスマスタープラン2018 (H30.3) 	再生可能エネルギーの利活用や新しい産業振興の源泉となる技術の研究開発、活力のある企業や人材の育成などを担う拠点として、産学官の連携を戦略的に強化していくとともに、敷地の有効活用や施設の機能強化、脱炭素化などに向けて連携を図ります。
定山溪	ゆたかな自然環境を生かし、自然と共生した様々な体験が可能な宿泊・滞在型の観光拠点として、その魅力を高めるとともに、更なる活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・定山溪地区魅力アップ構想 (H27.3) ・定山溪地区景観まちづくり指針 (H29.6) 	北海道を代表する温泉地であるとともに、豊かな自然と共生した様々な体験が可能な宿泊・滞在型の観光地としての魅力の向上に向けて、官民連携により、温泉街の魅力的な景観づくりや多様な観光資源の磨き上げ、情報発信の強化などを行います。
藻岩山麓周辺	藻岩山の豊かな自然環境や周辺の施設などを生かし、観光客や市民を引きつける魅力の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・再整備・リニューアル (H23.12) ・日本新3大夜景都市選定 (H27, H30, R4) ・ロープウェイ入口電停周辺地区景観まちづくり指針 (H29.6) 	藻岩山の豊かな自然環境、藻岩山からの夜景等の景色や周辺の施設などを生かし、観光客や市民を引き付ける魅力の向上を図ります。
苗穂	都心への近接性を生かして、スポーツ・集客交流産業の振興や利便性の高い複合型市街地形成を図るため、中央体育館の整備等を進めるとともに、都心を含めた地域の回遊性を高める交通環境の整備や再開発などによる市街地整備を進めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・苗穂駅橋上移転化 (H30.11) ・公民連携による再開発推進 ・北ガスアリーナ札幌46 (H31.4) ・駅前広場や周辺道路整備など都市基盤整備 	都心への近接性を生かし、札幌市中央体育館（北ガスアリーナ札幌46）や複合商業施設等を核としたスポーツ・集客交流産業の振興や利便性の高い複合型市街地の形成を図るため、都心を含めた地域の回遊性を高める交通環境の整備などを進めます。
東雁来	モエレ沼公園・サッポロさとらんどや豊平川に近接した地理的環境を生かし、子育て世代や高齢者が生き生きと暮らすまちを目指すとともに、環境負荷の少ない良好な住環境のモデル地区としての整備を進めます。また、食関連産業をはじめとするものづくり産業などの集積を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・東雁来土地区画整理事業 (H29完了) ・工業系の市有地の売却による企業誘致の実施 	良好な住環境を引き続き維持していくとともに、高速道路が近接している地理的環境を生かし、流通業務地として他の拠点との相乗効果を生み出すなど、札幌市の産業に寄与していきます。
モエレ沼公園・さとらんど周辺	文化芸術、スポーツ、レクリエーション活動など、市民や来訪者の創造性を刺激する多様な活動の拠点として、水辺や農地、埋蔵文化財などを生かした良好な空間の更なる活用を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・モエレ沼公園花火大会 ・さとらんど改修 ・便利施設の立地を許容する取組 (R4.4) ・モエレ沼公園・サッポロさとらんど周辺地区景観まちづくり指針 	文化芸術、スポーツ、レクリエーションなどの市民や来訪者の知識や理解を深め、創造性を刺激する多様な活動の拠点として、水辺や農地、埋蔵文化財などを生かした良好な空間の更なる活用や、拠点としての機能や魅力の向上に向け、土地利用の促進などを図ります。
大谷地流通業務地団地	団地の機能更新や高度化などにより物流の効率化を進め、交通混雑の緩和、環境への負荷や物流コストの低減に資する拠点としての役割の向上を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・流通業務機能の維持や物流施設の大型化・複合化に対応するため、用途地域等の全市見直しにあわせ、制限内容を変更 (R1.8) 	流通業務の拠点として、団地の機能更新や高度化・複合化などにより物流の効率化を進めるほか、環境への負荷や物流コストの低減などを図ります。
東札幌	集客交流産業の振興と活力ある企業や人材の育成を先導する拠点として、札幌コンベンションセンターや産業振興施設、商業・業務施設などの更なる活用や連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・MICE誘致 ・インタークロス・クリエイティブ・センター (ICC) が産業振興センターへ移転 (H25.4) 	集客交流産業の振興と活力のある企業や人材の育成を先導する拠点として、札幌コンベンションセンターや産業振興施設、商業・業務施設などの更なる活用や連携を図ります。
札幌テクノパーク	エレクトロニクスセンターを核として、バイオや食関連を含めた研究開発拠点としての再構築を推進し、食やバイオ、ITが連携した産業・研究支援の強化を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ・エレクトロニクスセンターのウェットラボ化 	ITやバイオ、食を始めとする産業の振興に向けた研究開発拠点として、札幌市エレクトロニクスセンターを核として、ITやバイオ、食が連携した広域的な産業・研究支援を強化するとともに、周辺地域の再編と連動した機能強化を図ります。
札幌芸術の森周辺	文化芸術の拠点として更なる活用を図るとともに、札幌市立大学との連携や札幌アートヴィレッジへの企業集積を図るなど、文化芸術や産業の振興、産学官連携による研究開発を促進します。	<ul style="list-style-type: none"> ・アートヴィレッジへの企業誘致 	文化芸術の拠点として、札幌芸術の森美術館の更なる活用を図るとともに、札幌市立大学や札幌アートヴィレッジとの連携を図るなど、文化芸術や産業の振興、産学官連携による研究開発を促進します。